『国際日本研究』 規約

1．投稿内容：当専攻が発行する紀要にふさわしい内容
未発表・未投稿のものに限る
研究論文が原則
研究ノートも可（将来の研究論文につながる可能性のある内容）

2．投稿資格：当専攻の教員（専任、兼任、非常勤講師、元教員）
当専攻の所属学生および修了生
短期プログラムに参加中の学生
研究員

3．採　　否：紀要編集委員会が委託した査読者の査読結果にもとづき、紀要編集委員会が採否を決定する
投稿者には加筆修正を求めることがある

4．使用言語：日本語または英語

5．長　　さ：日本語の場合は３万字以内
英語の場合は１万ワード以内
図表・写真等を含む

6．発行回数：年１回とする
紀要別冊を設ける場合もある

7．英文要旨：英文・和文問わず、全ての原稿に英文要旨（200語以内）を付す
執筆言語によりキーワードを付す
和文の場合は、英文で著者名、表題（副題を含む）を付す

8．執筆のスタイル：注、引用、参考文献の表記については、各ディシプリンの標準に従う。

9．論文の締め切り：毎年11月、詳細は別途通知する

10．そ の 他：掲載された論文の筆者には、抜刷50部を配布する
掲載された論文は、筑波大学電子図書館に電子化され保管される

執筆者一覧

研究論文

明石　純一　　AKASHI, Junichi

専門は移民研究・国際人口移動論，最近の調査対象地域は日本およびシンガポール。著作に，『入国管理政策』（ナカニシヤ出版），『移民政策のアプローチ』（明石書店，共著）ほか。博士（国際政治経済学）

今泉　容子　　IMA-IZUMI, Yoko

専門は映画研究，文学／映画の学際的比較研究，ジェンダー研究。Ph.D.（米イエール大学，文学・芸術）。著書は『映画の文法』（絶版，Amazon.co.jpで15,000円），『日本シネマの女たち』，『スクリーンの英文学』，『修正される女』など

小野　正樹　　ONO, Masaki

専門は日本語教育学，言語機能に関心を持ち，研究と教育に当たっている。著作に，『コミュニケーションと配慮表現　日本語語用論入門』（明治書院，共著），『コロケーションで増やす表現　ほんきの日本語』（くろしお出版，共著），『日本語態度動詞述語文の情報構造』（ひつじ書房）ほか。博士（言語学）

加納千恵子　　KANO, Chieko

専門は日本語教育学，特に漢字教育方法の研究。主な著書に『Basic Kanji Book』vol.1＆2（凡人社），『Intermediate Kanji Book』vol.1＆2（凡人社），『日本語教師のための漢字指導アイデアブック』（創択社，共著）ほか。

関崎　博紀　　SEKIZAKI, Hironori

専門：会話分析，日本語教育学。業績：「『BTS による多言語話し言葉コーパス－日本語２』の作成過程と整備の結果から示されること―会話教育への示唆―」（共著）ほか。

研究ノート

内山　祭　　UCHIYAMA, Matsuri

大学院生。博士論文執筆中。専門はマスメディア研究。著作に「報道番組における音響効果」(『比較文化研究　4号』),「メディアの犯罪報道と大学生の治安・社会参与意識についての調査研究」(『地域研究 31号』) など。

柯　一薫　　KE, Yi-hsun

大学院生。博士論文執筆中。専門は比較文化分野。日本，中国，台湾を中心に東アジアの近代茶文化を研究する。論文：「日台現代茶文化比較研究」2008年度筑波大学大学院地域研究科修士論文。

アミーラ サイード アリー ユーセフ　　Amira SAID Aly Youssef

大学院生。博士論文執筆中。専門：近代日本文学（宮沢賢治の児童文学における「子供像」の展開）
(エジプト投資．フリーゾーン局　研究者．翻訳者)

酒井たか子　　SAKAI, Takako

専門は日本語教育学、特に外国人学習者の日本語能力の評価、聴解教育。「中規模テストとしてのプレースメントテスト再考」(藤原雅憲ほか編『大学における日本語教育の構築と展開』ひつじ書房) など。

楊　元　　YANG, Yuan

大学院生。博士論文執筆中。研究分野は外国人学習者の日本語能力評価と測定 (特に聴解能力)。「JLPT 聴解問題における国内受験者と国外受験者の困難度の差について」東京学芸大学大学院教育学研究科修士論文など。